

時間割コード	G1D15101	開講年度	2026				
授業題目	ハングル初級（総合）				担当教員	延 鎮淑	
英文授業名	Korean: Elementary Level (Comprehensive Course)						
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・5時限	対象学生	全
講義室	共通教育46講義室		授業形態	実習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	大学D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				ハングルの読み書きができ、簡単な日常会話ができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	韓国語の文字、発音、初級文法を説明していきます。初期段階での韓国語の発音は日本語母語話者にとっては難しいかも知れないが、日本語の発音と関連付けて分かりやすく解説をしながら発音の練習をしていきます。文字や発音をマスターした後は基礎文法を勉強します。韓国語の文法は日本語と似ているため理解しやすいですが、誤用の危険性もありますので、その点もしっかり説明します。文字と基礎文法をマスターすれば簡単な会話がすぐ出来るようになります。そのような会話力が確実に定着できるように話すことに時間をかけて授業を進めて行きます。授業の後半（約15分間）にはビデオ教材を取り入れて、聞き取りの力がつくようにします。						
(5)授業のキーワード	ハングル 韓国語 文字 発音 基礎文法 文化 異文化間コミュニケーション						
(6)授業計画	1)ガイダンス 2)文字・発音編：第1課 母音（1） 3)文字・発音編：第2課 母音（2）/ 小テスト(前回学習した母音の単語テスト) 4)文字・発音編：第3課 子音（1）/ 小テスト(前回学習した母音の単語テスト) 5)文字・発音編：第4課 子音（2）/ 小テスト(前回学習した子音の単語テスト) 6)文字・発音編：第5課 母音（3）/ 小テスト(前回学習した子音の単語テスト) 7)文字・発音編：第6課 子音（3）/ 小テスト(前回学習した母音の単語テスト) 8)文字・発音のまとめ 9)第1課 10)第2課・小テスト（第1課の単語テスト） 11)第3課・小テスト（第2課の単語テスト） 12)第4課・小テスト（第3課の単語テスト） 13)第5課・小テスト（第4課の単語テスト） 14)第6課・小テスト（第5課の単語テスト） 15)まとめ（15分間は、授業アンケートに回答） 16)期末試験						
(7)成績評価の方法	授業内活動 1割(韓国語での発話および活動の達成状況) 課題 2 割（各課の練習問題） 小テスト 2 割 期末試験 5 割						
(8)成績評価の基準	全体の基準 卓越している：授業で示した文法や表現を正しく用いて正確な発音で教員と受け答えが出来、筆記で様々な表現が出来る かなり上にある：授業で示した文法や表現を正しく用いて教員と受け答えが出来、筆記で簡単な表現が出来る やや上にある：授業で示した文法や表現を正しく用いて簡単な内容の受け答えが出来、書き取ることが出来る 水準にある：読み書きが出来、基礎文法が理解出来、簡単な会話ができる 不可：読み書きが出来ない、基礎文法が理解出来ない						
(9)事前事後学習の内容	毎回、授業終了後にその日の復習のための課題を課す。次の週に、授業内容の理解を問う小テストを行う。それに備えるために課題をしっかりしてから授業に臨むこと この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、15時間以上の時間外学習が必要となります。						
(10)履修上の注意	*通年で受講することが望ましい（後期からの受講は難しい） *「ハングル初級（読解・会話）」「ハングル初級（文法）」や教養科目の「韓国の文化」と組み合わせ履修すると韓国語習得により効果的である *遅刻と認定する時間：授業開始10分後、欠席と認定する時間：授業開始30分後						
(11)質問,相談への対応	1)授業の前後 2)メール yeonjin@shinshu-u.ac.jp						
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外						

(12)授業への出席	(不可)となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」(『共通教育履修案内』参照)により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください(『共通教育履修案内』参照)。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」(『共通教育履修案内』参照)により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法(『共通教育履修案内』参照)により、共通教育窓口で申請してください。(この場合は、出席扱いにはなりません。)
【教科書】	韓必南・金恵子、マル韓国語、978-4-255-55670-3、朝日出版社、2020年、2200円
【参考書】	授業時に発表する